

## 時を知る～時計の歴史を探ろう～

私たちの生活になくてはならない時計。日本には、室町時代の半ばに西洋から機械時計が伝えられました。時間が正確にわかるなんて便利な道具だろう！と思いきや、その時代の人達にはそのまま浸透しなかったようです…。



当時の西洋は、すでに今の時間の表し方と同じ「定時法」でした。



奥の階段手前の右手側へ

日本

館

1 階

南V7

不定時法と和時計



1

「常香盤」を観察しよう



江戸時代の日本では様々な工夫をして時を表してきました。展示から、常香盤のしくみや時計とのかかわりについてまとめよう。

日本

館

1

階

南V7

不定時法と和時計



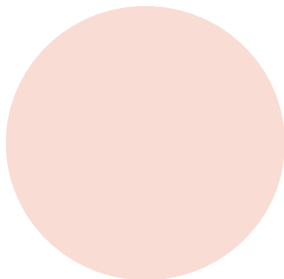
2

割駒式文字盤から不定時法の表し方を考えよう

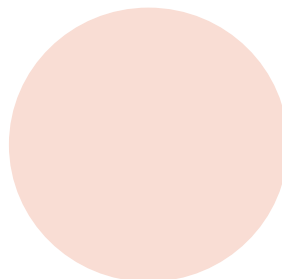


割駒式文字盤の夏と冬の駒をそれぞれ書き入れよう。夏と冬を比べると一刻はどう変化していますか。

夏



冬



一刻の変化

夏と冬では、どんなことが違っているのでしょうか？





## 3

## 現代の時計を観察し、和時計と比べよう



現代の時計と和時計を観察し、和時計のつくりや時間の表し方の違いを書き出してみよう。

|        | 和時計との違い |
|--------|---------|
| つくり    |         |
| 時間の表し方 |         |

「おやつ（お八つ）」の由来は、不定時法時代のお茶の時間です。



明治6年に、日本の時の表し方は、不定時法から定時法に変わりました。日本が定時法に変えたきっかけとして考えられることを思いつく限り挙げてみよう。



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名